


下関発電所2号機の運転再開について

当社は、燃料調達環境の変化に対応するため、今年5月を目途に、下関発電所2号機(石油火力、出力:40万kW、平成19年4月から休止中)の運転を再開することとしました。これに伴い、2月10日より再開に向けた点検工事を実施します。

当該設備については、より一層のコスト競争力の強化に向けて、安定供給を前提に可能な限り設備のスリム化を図る観点から、平成19年4月以降、休止しています(平成19年3月6日お知らせ済  [PDF:337KB])。

昨今の原油市場は、一時的な落ち着きをみせているものの、石油火力発電所で主に使用する低硫黄石油燃料は、生産量減少等による調達環境の悪化が懸念されるなど、先行き不透明な状況にあります。

こうした状況を踏まえ、石油精製過程の連産品であり、比較的容易に調達することができる高硫黄石油燃料が使用可能な排煙脱硫装置を備えた当該設備の運転を再開することで、長期的な燃料調達の安定化を図ってまいります。

当社を取り巻く経営環境は、極めて厳しい状況にありますが、引き続きお客さまから選択していただくため、今後も、より一層の経営効率化に努めるとともに、電力の安定供給、安全確保の徹底等の社会的な要請にお応えすべく、グループ一丸となって取り組んでまいります。

<運転再開対象設備の概要>

対象設備	下関発電所2号機
所在地	下関市長府港町9番1号
認可出力	40万kW
燃料種別	石油
運転開始年月	昭和52(1977)年9月
備考	平成19(2007)年4月以降 休止中

以上

(参考1)発電所の休止について

将来の再稼働の可能性を考慮し、当面の供給余力の範囲で一時的に運転を停止することです。

(参考2)排煙脱硫装置について

化石燃料などの燃焼等による排ガスから、硫黄酸化物(SO_x)を除去する装置のことです。下関発電所2号機は、環境対策設備として当該装置を備えています。

(お知らせ)

平成21年5月31日に点検工事を終了し、同日をもって営業運転を再開しました。

関連リンク

・[火力発電のしくみ\(環境@エネルギー\)](#)